作成:2006 年 12 月 1 日　　医療用具許可番号　11BZ000078

類別:器具器械　1　手術台及び治療台
(電動式のもの及び放射線治療台)
一般的名称:婦人科用診療・処置台

電動式婦人科検診台　K-800

【警告】
管理責任者を定め、熟練者以外の人は操作しないでください。

【組成・性状・構造等】
1.　構成
　(1) 本体
　(2) フットスイッチ
　(3) マットレス
　(4) 角枕、肘受、カーテン架、踵受、ロート、汚物缶
構成の詳細は、本体付属の取扱説明書を参照してください。
2.　性状
電源定格:AC100V, 50/60Hz
消費電力:350VA
寸法:(W) 500mm×(D)1,100mm
重量:150kg

【性能・使用目的・効能・効果】
1.　性能
昇降範囲:610mm～910mm
背板角度:-7°　～35°
腰板角度:-15°　～6°

【操作方法又は使用方法等】
1.　使用前準備
1)　設置場所について、次のような場所は避けること。
①　水のかかる恐れのある場所
②　傾斜、振動、衝撃のある不安定な場所
2)　電源設備について
①　電源は AC100V コンセントを使用すること。
②　電源の周波数や電圧及び許容電流又は消費電力に注意すること。
2.　使用中
各ボタンを押して操作してください。
3.　使用後
使用後は最低位まで下げて、台を水平し戻してください。
操作方法の詳細は、取扱説明書を参照してください。

【使用上の注意】
1)　台は、必ず平らでしっかりとした床の上に設置してください。床面が5°以上傾いている場所へ設置すると台が転倒するおそれがあります。
2)　台の使用中は、回りに人の身体や手足、障害物がないか十分注意してください。台に挟まれ、人身事故や物損事故などの原因になります。
3)　医療従事者以外は台を作動しないでください。
4)　台を使用する前に、各部が正確かつ安全に作動することを確認してください。
5)　ゆるみ、ガタ、傾き、振動、音、温度、臭気などに常に注意して、点検を行ってください。また、少しでも“おかしいな？”と感じたらすぐに使用を中止してください。
6)　壁ぎわに設置される場合、天板を壁から 10cm 以上離して設置してください。壁にこすれて天板が損傷するおそれがあります。
7)　電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全だとショートや発熱による発火の原因になります。
8)　使用しないときは電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。不用意な操作で思わぬ事故が起きたり、絶縁劣化による漏電火災の原因になります。
9)　電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電や発火の原因になります。
10)　電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードを持って引き抜くと電源コードが破損し感電や発火の原因になります。
11)　本機は、電気機器なので水をかけて洗うことはしないでください。故障や感電のおそれがあります。
12)　絶対に分解したり修理は行わないで下さい。分解・修理中に感電したり、または修理に不備があると発火したり、異常作動してけがをすることがあります。
13)　電源コード、フットスイッチのコードの上に物を置かないでください。コードが傷ついて、断線、ショートによる感電や発火の原因になります。
14)　3分以上連続で作動させないでください。モーターの過熱防止装置が働き、操作ができなくなります。モーターの過熱防止装置が働き操作できなくなった場合は、約 10 分後に操作を再開してください。
15)　コードに足を引っかけないように注意してください。
16)　フットスイッチは踏み間違いのないように、十分注意して操作を行ってください。操作を行う人は回りに十分注意を払い、言葉をかけてから台の作動を行ってください。

【作動・動作原理】
1)　油圧ポンプにより各油圧シリンダーを動かします。
2)　手動操作により角度調整を行います。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】
1)　水のかからない場所に保管してください。
2)　温度、日光、ほこりなどにより悪影響を生ずる恐れのない場所に保管してください。
3)　化学薬品の保管場所やガスの発生する場所には保管しないでください。

【保守・点検に係る事項】
性能維持及び安全確保のため本体及び付属品等は、定期点検を取扱店に依頼してください。

【包装】
保護フィルムによる養生、付属品用ダンボール
:本体1台(付属品を含む)

【製造業者の氏名又は名称及び住所】
製造業者名:株式会社柿沼製作所
住所　　:埼玉県川口市南鳩ヶ谷 1-32-20
電話番号　:048-281-3029

取扱説明書を必ずご参照下さい。